

第 58 回新日本スポーツ連盟全国卓球選手権大会における 新型コロナウイルス感染症対策について

- 1.大会会場は基本的に無観客とし、一般の部団体戦に入場できるのは登録選手最大 8 名以外監督かコーチ、マネージャー等 1 名とし、合わせて 1 チーム最大 9 名の入場とする。
個人戦は一般、年代別とも登録選手 1 名、監督かコーチ、マネージャー等 1 名とし 最大 2 名とする。
他にやむを得ず帯同が必要な方(小さなお子さん連れの選手)や選手の家族は入場を認めるが健康チェックシートの提出など選手同様以下の項目の適用となる。
- 2.大会前7日間における(大会当日を含む)健康状態が以下に該当する選手や関係者の参加及び入場は不可。
 - ① 平熱を越える発熱(おおむね 37.5℃以上)ある(あった)。
 - ② 咳、のどの痛みなど風邪の症状のある(あった)。
 - ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある(あった)。
 - ④ 嗅覚や味覚の異常がある(あった)。
 - ⑤ 身体が重く感じる、疲れやすい症状がある(あった)。
 - ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触がある(あった)。
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる。
 - ⑧ 政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国・地域等への渡航または当該在住者と濃厚接触がある(あった)。
- 3.各自不織布マスクを持参する(ウレタンや布製は不可)。
競技中以外は必ず不織布マスク着用。
- 4.こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施の徹底。
- 5.他チームの参加者、役員等と密にならないような距離の確保。
- 6.大きな声での会話、応援の禁止(拍手による応援を推奨)。
- 7.大会主催者による感染防止のための措置や取り決め、指示従う。
指示に従わない場合失格や退場の措置。
- 8.大会終了後7日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに濃厚接触の有無等について各地域協議会や全国卓球協議会に連絡する。
- 9.大会当日受付時に別紙「大会参加者健康状態申告書」を必ず提出。

大会当日参加者の留意点

1. 「大会参加者健康状態申告書」の①以外に該当する選手及び関係者は入場せず自主的に棄権する。
2. 体育館の入場時必ず検温。受付時密にならないよう間隔をとる(時間に余裕をもって来場)
3. 不織布マスク持参、競技中以外は不織布マスクを着用(ウレタンや布製は不可)。
4. 試合前、試合後備え付けの消毒液で必ず手指の消毒を行う。
5. 更衣室やトイレ等利用する場合 3 密を避ける。
6. こまめな手洗い、会場にあるアルコール等による手指の消毒。
7. マイタオルの持参、共用禁止、卓球台にタオルをかけることの禁止。
マイタオル入れを持参するか 大会本部が用意したビニール袋を使用する。
8. 他チームの参加者、役員等と密にならないよう距離の確保。
10. 飲料の回し飲みやタオルの共用の禁止。
11. 卓球台や、シューズの裏で手を拭くことの禁止。
13. 大会中は 3 密を避ける。
14. 食事は密にならないよう距離を確保し同じ方向を向いて食事し会話を控える。
15. 新型コロナウイルス感染症防止のためのその他の措置や指示に従う
指示に従わない場合失格や退場の措置をとる。

試合進行上の留意点

1. 団体戦の対戦時、ベンチに入りは選手 4 名と関係者 1 名の計 5 名とし、
個人戦は選手 1 名と関係者 1 名の 2 名とする。
ベンチ入りする選手と関係者は必ずマスクを着用する。ただし会話を伴わない場合はマスクを外しても構わない(試合後呼吸を整える等)。
ベンチ入りできない選手、関係者は観客席で観戦する。
2. 選手が試合中マスク着用することは構わないが呼吸等に十分注意する。
3. 準決勝までゲームのチェンジエンドは行わない。
4. 握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
5. ラケット交換は行わず、ラケットを相手に見せ合うこと。
6. マッチごとに手指消毒や卓球台の消毒をする
7. ビクトリーマッチは登録選手最大 8 名の中から速やかに選出すること。
(ベンチ入り選手以外でも登録してある選手は出場できる)
8. 不要な声出しはしない。

2022.12.1